

企画名	緑のカーテンを作ろう！2015
実施団体	団体名 我孫子市消費者の会 問合せ先 加藤マリ子 TEL: 04-7105-5292 Email: kato_mariko@hotmail.com ホームページ: http://www.abikoshi-syouhisyanokai.net/wp/
目的	緑のカーテンを作ることにより、夏を節電で快適に過ごせることを普及させる。 また、手賀沼の状況を知ってもらい、環境への関心を高める。
日時・場所	2015年5月6日(水) 14:00~16:00 我孫子南近隣センター ホール
プログラム・概要・ルート等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 手賀沼への取り組み最前線(竹中真里子) 手賀沼のこれまでの水質や生物、浄化への取り組みについてグラフ、図表、写真等を用いて説明。また、外来植物やハスの拡大などに対して現在、実験作業を行っていることを報告。浄化に向けて家庭でできる具体的な事例もPRした。 2. 緑のカーテンづくり「基礎編」(加藤マリ子) 土づくり、ネットはり、水やり、肥料、摘心、ツルの誘引、受粉、収穫、片付けを説明。植物とネットを一緒にして捨てないことも注意。 3. 緑のカーテンなんでも相談「達人編」(中村公陽) 「アブラムシがつく」「伸びない」「葉が小さい」「アーチ型にしたい」「昨年の土を使用してよいか」「ボカシの肥料とは?」などの質問があり、「肥料を前もってしっかり入れておく」「土を天日干し」「毎日成長を見る」など回答した。 4. 緑のカーテンコンテストのお知らせ(深山恒男) 5. ゴーヤの苗の配布・・・一人2本ずつ配
参加対象	一般
参加人数	一般参加 52名(大人51名、子ども1名) 会員スタッフ 16名
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>手賀沼のハスが拡大し、水中は酸素不足。</p> </div> <div style="width: 50%;">  </div> <div style="width: 50%;">  <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; right: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%);">緑のカーテン「基礎編」</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; right: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%);">上手に育てて下さいね</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>こんなアーチ型にしたんだけど～</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>「達人編」</p> </div> </div>	
参加者や実施団体の感想	手賀沼はきれいになったと思って安心していたが、様々な問題が起きていることが分かった。外来植物やハスについて初めて知った。きれいで豊かな手賀沼になってほしい。水をできるだけ汚さないように心がけます。 緑のカーテンの1回目はうまくいったが、2回目は失敗。土を日に干すこと、肥料をしっかり入れることが重要だった。連作してもうまく育つなんてすごい。

企画名	手賀沼親子自然観察会－手賀沼用水路で魚とり！（我孫子）
実施団体	団体名 手賀沼水生生物研究会 問合せ先 松本勝英 TEL&FAX: 04-7187-1704 ホームページ: http://suiken.teganuma.org/
目的	手賀沼の水辺の生きものについて、子どもたちや親に知ってもらおう。
日時・場所	2015年7月12日（日）10:00～12:00 手賀沼 沼南側ヒドリ橋たもと
プログラム・概要・ルート等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鈴木代表から本日の予定、講師の柄澤保彦さんからタモ網による魚採りのやり方の説明。 ・ モンドリを仕掛ける ⇒タモ網で魚採り ⇒モンドリを引き上げ ⇒魚の分類。 ・ 講師の左村義弘さんから、手賀沼の畔に生える植物と沈水植物の説明。 ・ 講師の柄澤さんによる解説。採れた魚やエビについて、魚の見分け方、外来種(外国産、国内移入種)はどれか、どこから来たのか、どうやって手賀沼に来たのかなど。
参加対象	小学生以下は親子参加
参加人数	一般参加 61名（大人 27名、子ども 34名） 会員スタッフ 14名



←モンドリを仕掛け、楽しいガサガサタイム！

→とれた魚は水槽に仕分けして観察する



←モンドリの中身を一緒にチェック

→講師の説明を聞く



【観察された水生生物】

在来種:コイ、ギンブナ、モツゴ、ヌマチチブ、ヨシノボリ類、メダカ、ドジョウ、スジエビ、アオモンイトトンボ幼生、トウキョウダルマガエル幼生

国内外来種:ツチフキ 国外外来種:タイリクバラタナゴ、カダヤシ、カムルチー、シナヌマエビ、アメリカザリガニ、ウシガエル幼生

参加者や実施団体の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休み直前ということもあり、受付初日の3時間で定員いっぱい。そのためか当日参加の親子もあり、実際には参加者だけで70名は超えていたと思われる。 ・ 突然の猛暑日となり、小さいお子さん連れの方は大変だった。テントとターフで日陰をつくって休憩所とし、大量のイオン水を準備したのが役に立った。 ・ 時期のせいかな魚種は少なめ。エビが数年でシナヌマエビに置換されたのが衝撃的。
-------------	--

企画名	かかし祭り			
実施団体	団体名 NPO 法人手賀沼トラスト 問合せ先 富澤 崇(事務局) TEL: 04-7115-1109 Email: info@teganuma-trust.jp ホームページ: http://teganuma-trust.jp			
目的	かかし作りを通して、自然と共生する米作り・地域作りを身近に感じてもらう。			
日時・場所	①2015年7月18日(土) 9:00~12:00 ②2015年8月22日(土) 9:00~12:00			
プログラム・概要・ルート等	①かかしを作ろう ②かかし祭り ・かかしコンテスト ・虫取りと生物観察 ・生態系に関する講義 ・かき氷			
参加対象	手賀沼周辺市民(我孫子市・柏市 他) 親子、会員			
参加人数	①一般参加 21名(大人 名、子ども 名) 会員スタッフ 15名 ②一般参加 30名(大人 名、子ども 名) 会員スタッフ 53名			
		かかし作成風景		スイカを頬張ってちよっと一休み
		今年の金賞(やっばりうなぎちゃん)		青空教室(生態系のお勉強)
参加者や実施団体の感想	最近のかかし祭りではその年に注目を集めた人物や活躍した選手、また話題にのぼったキャラクターが多く作られるようになった。そんな中、今年は我孫子市の公認キャラクターになったせいか3体の「うなぎちゃん」が登場した。かかしとして作りやすいのだろうか出来栄も良く、金賞に選ばれたのもそのうちの1体だった。また今回は田植えやその他のイベントにも来てくれた方が「楽しかったので」と言って、この祭りにも参加してくれたことが何よりうれしかった。			

<p>企画名</p>	<p>手賀沼をもっときれいに！-せっけんいろいろ実験&体験-</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子市石けん利用推進協議会 問合せ先:商業観光課消費指導担当 TEL:04-7185-1469 FAX:04-7182-8080</p>
<p>目的</p>	<p>手賀沼の水質悪化の大きな原因は、家庭排水とりわけ合成洗剤の多用でした。それに気がついた市民（団体）からの請求によって、我孫子市は全国で唯一石けん利用に関する条例を持っています。下水道の整備が進んだ今も、生活排水は水環境に大きな影響を及ぼしています。さまざまな実験を通して「家庭でせっけんを使うことの意義」を伝えます。</p>
<p>日時・場所</p>	<p>7月20日（月）9:30～11:30 アビスタ工作室</p>
<p>プログラム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合成洗剤とせっけんはどちらがうの？ ・ ハミガキ実験で、せっけんと合成洗剤の違いを体験しよう。 ・ DVD鑑賞：ミドリゾウリムシと魚「アジ」への合成洗剤の影響を見る。 ・ パワーポイント「手賀沼とせっけん」で、手賀沼の生きものとせっけんのつながりを説明。 ・ 「ガシャモク」の育成実験、合成洗剤の影響を見る。 ・ 毎日どのようにお皿を洗っていますか？（よごれのふきとりで排水をきれいにできることを知る） ・ プリプリせっけんを作って家中きれいに！
<p>参加対象</p>	<p>参加対象：小学生と保護者</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 35名（大人 16名、子ども 19名）、会員スタッフ 8名、計 43名</p>
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>「ハミガキ実験」せっけん と合成洗剤ハミガキの後の、ジュースの味はなぜ違うの？</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>お家ではどんなふうにお皿を洗いますか？そのまま洗うと…。</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>今はないけれど手賀沼の土から復活したガシャモク。洗剤の影響は？</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>プリプリせっけんを作ろう。運動靴や茶碗やランプシールド、なんでもきれいに！</p> </div> </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ プリプリせっけんを使うのが楽しみです。石けん洗濯をなるべくするようにしています。梅雨の時期など生乾きのニオイがしないのでとても良いです。 ・ 手賀沼の浄化が頭打ちと聞いていますが、もっと浄化が進めば画期的であり、環境改善のモデルになるので協力したいと思います。 ・ せっけんカスが生き物のエサになっているという事に驚きました。台所では固形せっけんを使用していますが、少しの汚れでもぬぐい取るようにしたいと思います。 <p>【実施団体】 申込が大変多くあり、来年度は午前午後 2 回実施を検討します。</p>

企画名	カブトムシを探そう、クワガタを探そう
実施団体	団体名 船戸の森の会 問合せ先 七尾 忠 TEL : 04-7184-5866 Email: nanao@k2.dion.ne.jp
目的	船戸の森を通して、地域の子供 と大人と一緒に、カブトムシ・クワガタを探すことで、自然を大事にすることと、生命の尊さを実感するとともに、家族のコミュニケーションを深める。
日時・場所	2015年7月26日(日) 10:00~12:00 船戸の森
プログラム、概要、ルート等	① 船戸の森の自然観察とカブトムシ・クワガタ探し。 ② カブトムシ・クワガタに関するクイズにより、知識を習得する。 ③ 参加者全員に、会員飼育のカブトムシ・クワガタをプレゼントする。
参加対象	参加対象：地域の子どもと大人
参加人数	一般参加 85名（子ども 50名、大人 35名）、会員スタッフ 18名



いつも静かな森に、こんなに大勢集まりました！！



さあどこにいるかな？



木の上にいるよ！



はい並んでね！ 全員分あるからね！！

参加者や実施団体の感想

- ・初めて参加しましたが、とても楽しいひと時でした。
- ・近所に、こんな素敵な森があったのですね。
- ・子供たちや付添いの家族の方の笑顔に、また元気を貰えたひと時でした。
- ・連日の猛暑の中、真夏の大人数のイベント！無事故で終了出来てホッとしました。

<p>企画名</p>	<p>手賀沼親子体験ヨット乗船会（我孫子）</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 NPO 法人 アルバトロスヨットクラブ 問合せ先: 須藤 敏通 電話: 04-7132-6415 Email: redhog_104@nifty.com ホームページ: http://www.geocities.co.jp/Athlete-Sparta/2767/</p>
<p>目的</p>	<p>セーリングを体験しながら手賀沼に親しむ機会を提供する。 セーリングに必要なロープワークや初歩の帆走技術を知って貰う。</p>
<p>日時・場所</p>	<p>2015年9月26日（土）8:00～16:00 手賀沼、我孫子手賀沼漁協棧橋</p>
<p>プログラム、概要、ルート等</p>	<p>08:00 帆走指導者、運営役員集合。漁協棧橋にてシカーラ2艇の準備。アクセスディンギー2艇を手賀沼公園から搬入。 09:00 午前の部参加者集合・担当班森より乗艇の心得について説明。 09:30 アクセスディンギー2艇、シカーラ2艇を使用し、各艇15分間の体験を実施。集合から乗艇までの10分の待ち時間の間須藤理事を中心に、基礎的なロープワーク、帆走原理等を説明。 12:00 午前の部終了。午後の部・体験乗船会開始。 14:30 午前の部と同じサイクルを繰り返して終了。参加者は各回終了時随時解散。 16:00 艇の艀装解除、整理、棧橋よりAD艇の搬出、クラブ員全員解散。</p>
<p>参加対象</p>	<p>我孫子市内居住の小・中学生とその家族（中学生以上は単独参加可能）</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 67名（大人 32名、子ども 35名）、会員スタッフ 24名</p>
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>秋雨前線による連日の降雨が当日に途切れ若干肌寒く感じる中を開催。微風から超微風でヨットの醍醐味を感じるには物足りないが子供たちに安心して任せる事が出来、『操艇が面白かった!』と、父兄の皆さんは『白鳥目線の手賀沼の景色が素晴らしかった!』と環境保全の大切さも改めて感じて頂けたようで、クラブとしてもやりがいのある一日となりました。</p>

企画名	川めぐりと木下史跡散歩
実施団体	団体名 我孫子の文化を守る会 問合せ先 齊藤清一 TEL: 04-7183-9815 Email: sssaitou@hotmail.co.jp
目的	手賀川の船上見学と史跡めぐりで手賀沼の現況を知り、手賀沼環境保全を考える機会とする。
日時・場所	2015年9月26日(土) 11:45~15:20 集合: 印西中央公民館
プログラム、概要、ルート等	印西中央公民館にて参加者に本日の目的を説明。 【川めぐり】 渡船場から1艘11名ずつ2艘に乗船 印西観光協会の説明で出航。 ルート: 弁天川⇒手賀川⇒下手賀川⇒手賀川⇒六軒川めぐり 【木下の史跡探訪】 印西ふるさと案内人協会の協力により、海に埋もれていた12~13万年前の貝化石を多量に含んだ地層と貝層と貝塚の説明を受ける。 ルート: 中央公民館・道標⇒手賀沼排水機場⇒木下河岸⇒吉岡家(江戸時代からの問屋) 界限⇒木下貝層⇒上町観音堂(堂内の厨子には銅造十一面観音立像安置) ⇒旧武蔵屋店舗(木下河岸で旅籠を営んでいた) ⇒木下駅
参加対象	我孫子市民
参加人数	一般参加17名(大人17名) 会員スタッフ5名



渡船場で二艘に分乗



ゆっくりと食事を楽しみ、たくさんの水鳥が遊ぶ景色を楽しみました



印西ふるさと案内人協会の説明で、木下の河岸を探訪



12から13万年前の貝層に皆吃驚!

参加者や実施団体の感想	【参加者の感想】 昨日の雨も上がり水嵩もあり、ゆったりと船上からの景色や水鳥を眺め、穏やかな時を過ごし幸せな気持ちです。 【スタッフの感想】 連日の雨で弁当の手配に迷ったが、無事開催でき皆さんに楽しんでもらえてよかった。
-------------	---

企画名	手賀沼の歴史景観をみよう
実施団体	団体名 我孫子の景観を育てる会 問合せ先 木村靖弘（歴史景観担当） TEL: 04-7184-69711 Email: kimuyasu69@nifty.com ホームページ: http://www.geocities.jp/abikokeikan/
目的	手賀沼の船上から我孫子の丘を眺め、その歴史と景観を楽しむ。
日時・場所	2015年10月3日（土） 9:00～12:00
プログラム・概要	【プログラム】 チャーターした遊覧船で手賀沼をほぼ一周 ・船上から我孫子の丘を眺め、我孫子と手賀沼の今昔、周辺の景観、沼の汚染を説明。 ・柏側の緑道、利根川との関連、干拓の歴史などを説明。 ・手賀沼の生物の姿、手賀沼周辺の古墳、我孫子に暮らしたゆかりの人々の紹介。
ルート等	【ルート】 手賀沼公園⇒大堀川河口付近⇒フィッシングセンター（曙橋）で下船 ⇒柏市沼南側散策後に再乗船⇒手賀沼公園（解散）
参加対象	どなたでも
参加人数	一般参加 34名 会員スタッフ 4名



松村さんの軽妙な語りとパネルで説明



魚が飛び跳ねる周辺での、手賀沼の鳥の競演に見とれる。





フィッシングセンターで下船、説明を熱心に聞く。



参加者感想 実施団体の感想	<ul style="list-style-type: none"> 参加者アンケートから ①松村さんの説明は判り良かった。(14名)、参加してよかった。(21名) ②足が悪く周辺を歩くことは少ないが手賀沼の今昔、沼の汚染の実態など多くのことを学んだ。これからもこの種の行事には参加。来年は妻や友人にも声を掛けたい。 ③ 俳句 秋晴るる 水面眺むる 川鶉かな。 手賀の面に照るや彼岸の風渡る 他3句 我孫子の景観を育てる会から 9月16日の広報あびこに手賀沼流域フォーラム我孫子実行委員会のイベントのひとつとして掲載。9月17日の受付開始日だけで27名の申込翌日には満席になる人気イベント。
------------------	--

<p>企画名</p>	<p style="text-align: center;">手賀沼水辺探検</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子市環境レンジャー 問合せ先 間野 吉幸 TEL: 080-3410-8119 Email: mano@sonata.plala.or.jp</p>
<p>目的</p>	<p>手賀沼親水広場の管理が千葉県より我孫子市移管に伴い、手賀沼水辺探検の親水事業がなくなった。親水の心を醸成する事業は、美しい手賀沼にするためにも欠かせないもので、子どもを対象に手賀沼の魚とりの実践を踏まえ、その感動を味わってもらおう。</p>
<p>日時・場所</p>	<p>2015年10月4日（日） 13:00～14:40 手賀沼フィッシングセンター周辺</p>
<p>プログラム、概要、ルート等</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 広場でこれからのスケジュール及び注意事項の説明。 ② 講師（漁師さん）紹介と漁師さんより手賀沼に棲んでいる魚貝類やどのような魚を獲っているか、水がきれいだった頃、汚れた頃、北千葉導水できれいになった今の話。 ③ モンドリ（カゴ網）の使い方の指導。参加者を3班（家族単位）に分け手賀川と手賀沼栈橋に分散して投入・設置。 ④ 漁師さんの漁の実際を橋の上から見学。その後獲った魚の観察とその魚の説明。 ⑤ モンドリに入った魚を仕分けし水槽に入れて貰い子供たちに魚の観察と写真を撮ってもらおう。 ⑥ その魚の説明をする。→「手賀沼の魚」のリーフレット（新規作成）を活用し観察した魚やエビ等をチェックする。 ⑦ ⑧ 獲った魚は沼に戻す。（但し、特定外来生物は解散後にスタッフが処分）
<p>参加対象</p>	<p>小学生とその保護者</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加者 60名（大人 30名、子ども 30名） スタッフ 14名 合計 74名</p>
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小魚やエビが獲れ、親子とも異口同音に楽しかった発言が多数あった。 ・ 次は何時やるのかの質問があり次回も楽しみにしている様子があった。 ・ こども達は行事が終わった後もウナギやコイ等を掴み魚の感触を楽しんでいた。 ・ 手水研と我孫子市環境レンジャーのコラボ行事は、フォーラム事務局の多大な支援があり、成功裏に終了した。何よりも参加者のありがとうが、良かった。

企画名	森をきれいにしよう、みんなでサツマイモほりしよう
実施団体	団体名 船戸の森の会 問合せ先 七尾 忠 TEL: 04-7184-5866 Email: nanao@k2.dion.ne.jp
目的	船戸の森を通して、地域の子供と大人と一緒に、自然に親しみ、自然を大事にすることを体験するとともに、家族のコミュニケーションを深める。
日時・場所	2015年10月17日(土) 10:00~12:00 船戸の森、手賀沼ファーム
プログラム、概要、ルート等	①船戸の森の自然観察と森の整備(枯れ枝集め、枯れ枝の整理) ②枯れ枝をリヤカーに積んで手賀沼ファームまでみんなで運ぶ。 ③みんなで並んでサツマイモほりをする。 ④焚き火を囲んで、食パンを焼いて食べる。 
参加対象	地域の子どもと大人
参加人数	一般参加 65名 (大人 25名、子ども 40名) 会員スタッフ 15名
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>今年もこんなに大勢集まりました</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>枯れ枝を集めて、さあ、出発です</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>ドキドキ！ちゃんと掘れるかな</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>こんなにたくさん！</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ワーイ！焚き火だ！</p> </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <p>パンおいしかった</p> </div>	
参加者や実施団体の感想	<p>【参加者】・枯れ枝集めやリヤカーでの運搬など、普段できないことができて楽しいひと時でした。 ・サツマイモを掘り出すときに、傷つけないかとドキドキしました。 ・焚き火で焼いた食パンのおいしさに、家でもやってみようと思いました。</p> <p>【主催者】・心配された天候も最後まで崩れず、無事故で終了できてホッとしました。 ・子供たちだけでなく、大人も楽しそうな姿を見て、行事の成功を実感できました。</p>

企画名	手賀沼 エコ・こども教室
実施団体	団体名 我孫子市環境レンジャー 問合せ先 間野 吉幸 TEL: 080-3410-8119 Email: mano@sonata.plala.or.jp
目的	我孫子市の小・中学校の生徒を対象に教育委員会学校指導課主催の「科学作品展」のなかから選ばれた「手賀沼賞」受賞作品を取り扱った公開教室の企画。 子供たちに発表機会を設けると共に、多くの人に作品の成果を広める。
日時・場所	2015年10月18日(日) 9:30~15:00 アビスタ第1学習室&ストリート
プログラム、概要、ルート等	<p>【口頭発表大会】アビスタ第1学習室 9:30~12:00</p> <p>①我孫子市小中学校夏休み科学作品展手賀沼種受賞作品の中から発表作品を選び、その研究成果をプロジェクターで発表した。 ②発表内容についてコメンテーターが講評した。 ③発表者には表彰状(A3版)、発表作品概要(A1版)、図書カードを授与した。 併せて手賀沼賞受賞者全員に表彰状(A4版)を贈った。</p> <p>【エコクイズ大会】アビスタストリート 9:30~15:00</p> <p>①発表作品をアビスタストリートに展示し作品内容を題材にしたクイズを実施した。 スタッフが展示内容を説明しクイズ解答へのアドバイスを実施した。 ②クイズ参加者全員にパウチした名刺大の特製野鳥カードをプレゼントした。 子ども達は野鳥カード欲しさに積極的に親と一緒にクイズに参加した。</p>
参加対象	子どもと保護者
参加人数	一般参加者 434名(内子ども 252名) スタッフ 8名
 <p style="text-align: center;">口頭発表大会</p>  <p style="text-align: center;">エコクイズ大会</p>	
参加者や実施団体の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・発表した子どものモチベーションが上がり親も学校も異口同音に良かったとの発言。 ・クイズに参加した親御さんは、展示作品の内容を見てすごいと褒めていた。 ・「手賀沼賞 エコ・こども教室」が円滑に開催できたことは、発表者本人、保護者、学校の全面的な協力が有ったことに感謝します。参加者全員が喜んでくれたことは嬉しい。エコクイズに沢山の親子が参加され作品内容の理解が深まった。

企画名	手賀沼の最初のひとしずく、こんぶくろ池を見に行こう
実施団体	団体名 NPOせっけんの街 問合せ先 藪腰 静香 TEL: 04-7134-0463 Email: honbu@sekkennomachi.org ホームページ: http://www.sekkennomachi.org
目的	手賀沼は、生活排水対策を進めるとともに、面源負荷対策を四メなければならない。家庭で出来る雨水を、時間差で流すことにより、冠水対策・大地への雨水浸透をさせ、あまみずの利用をはかる。
日時・場所	2015年11月21日(土) 9:15~15:30 我孫子駅北口郵便局前集合
プログラム・概要・ルート等	手賀沼の最初の水の一つ、こんぶくろの池の散策。こんぶくろ池は平坦な土地なのになぜ湧水がでるのか。この地域の不思議や伝説について学び、雨水タンク有用性の説明を聞く。大堀川は工場からの排水、家庭からの排水をもらって緩やかにながれ、二つの大掘り川が手賀沼付近で一つになり、手賀沼にそそぐ。 9:15 我孫子駅北口郵便局前集合 10:00 大堀川の源流の一つこんぶくろ池自然博物公園の散策。 11:15 公園内管理棟前で雨水(あまみず)タンクの説明 12:00 昼食(東京大学内 カフェテリア)各自負担 13:00 せっけんの街すぐ前の大堀川を見て工場の見学、旧吉田家住宅歴史公園見学。 14:00 北柏ふるさと公園 手賀沼を一望する 15:30 我孫子駅北口
参加対象	手賀沼周辺の市民(我孫子・柏等)
参加人数	一般参加 20名 会員スタッフ 5名



NPO 法人こんぶくろ池自然の森の古橋さんから森の説明を受ける



雨水タンクの展示と説明



周りにビルが建ち、環境の変化で年々、湧水が減ってきている弁天池



旧吉田家にちょっと寄り道、手賀沼近隣の歴史を感じる事が出来ました。

参加者や実施団体の感想	一度こんぶくろ池に行きたかった。静かできれいでした。とても神秘的でした。街中にある自然の森を残すための管理工夫が繊細かつ、大変なご苦労があることが分かりました。旧吉田家はとても見事でした。手賀沼のナガエツルノゲイトウは、はやく取り除くべきだと思います。
-------------	--

企画名	手賀沼親子ふれあい探鳥会
実施団体	団体名 我孫子野鳥を守る会 問合せ先 野口 隆也 TEL: 04-7163-7898 Email: t_noguchi1212@jcom.home.ne.jp ホームページ: http://abikoyacho.org/
目的	野鳥観察を通して、楽しみながら私たちの住んでいる自然環境を観察する目を養う。
日時・場所	2015年11月29日(日) 9:30~12:30 手賀の丘公園⇄手賀沼
プログラム・概要・ルート等	①野鳥観察 手賀の丘公園～手賀沼～手賀の丘公園を探鳥。 我孫子野鳥を守る会会員が、野山と水辺の鳥を案内し、家族に探鳥の楽しみを伝え親子がふれあう探鳥会にしました。具体的に観察した野鳥をスコープに入れて紹介、鳴き声に聞き分けを説明しました。 ②野鳥ビンゴゲームの実施 野鳥観察の楽しさをゲームで加速させる方法を取りました。終了後、完成できたビンゴの数に合わせ我孫子野鳥を守る会特製の野鳥カードと野鳥塗り絵セットをプレゼントしました。子供たちは大喜びでした。ビンゴを完成させようと野鳥観察に熱が入りました。
参加対象	子どもからお年寄りまで、何方でも。
参加人数	一般参加 38名(大人 26名、子ども 12名) 会員スタッフ 5名
   	
参加者や実施団体の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・絶好の探鳥会日和に恵まれ47種の野鳥を1種の家禽を観察しました。 ・手賀沼周辺を散歩しているが、野鳥をあまり感じなかった。今回参加したことにより野鳥が身近に感じられるようになった。 ・また多くの方より今日は楽しかった、良かったと感謝された。 ・例年実施しているビンゴゲームと特製野鳥カード及び野鳥塗り絵セットプレゼントは好評であった。 ・今年は未就学児の参加が多く、親御さんの野鳥観察に対する関心が高かった。